

ドイツのフレグランス事情：クリスマスに輝く香りの文化とその魅力を探る



ドイツはフレグランスの世界において長い歴史文化を持つ国の一つです。特に12月、クリスマスが近づくと香りの市場は活気づき、香水がプレゼントとして人気を集める季節となります。今回は、ドイツのフレグランス市場の規模や特徴、歴史に加え、注目ブランドやクリスマスシーズンならではの文化をご紹介します。

ケルン発祥のナポレオン愛用のコロンから、現代の新進気鋭のブランドまで、香りを通じてドイツの魅力をもひも解きましょう！

1. ドイツのフレグランス市場：クリスマス時期が年間売上のピーク



ドイツのフレグランス市場は、ヨーロッパでも有数の規模を誇ります。2023年には市場全体の売上が約42億ユーロ（約6500億円）に達するとされ、そのうちなんと約20%がこの季節に集中。香りは特別な贈り物として長く親しまれており、12月はフレグランスショップにずらりと行列が並びます。特に人気なのが、ギフトボックス形式で販売される香水セット。他にもキャンドルやボディケア製品もこの時期は飛ぶように売れます。

2. フレグランスの発祥地としてのドイツ：ケルンとナポレオンのコロン

ドイツ香水史を語るうえで外せないのが、「ケルンの水（Eau de Cologne）＝オーデコロン」です。ケルンのフレグランスメーカー「ファリーナ・ハウス」（1709年創業）が生み出したこの香りは、シトラスたっぷりのフレッシュな清潔感のある香水としてヨーロッパ中で人気を博しました。

ナポレオンはこれを愛用し、ブーツに入れて毎日一本かぶるように使い士気を高めていたと言われています（当時香水一本は平民のお給料1ヶ月分とも言われる高級品）。その影響で「Eau de Cologne」という名前が香水カテゴリーとして定着し、現代でもケルンはフレグランスの発祥地として知られています。





- ファリーナ・ハウス (<https://farina.org/welcome/>)

現在もケルンで営業をし続けるファリーナは、世界最古の香水ブランドの一つとして観光名所になっています。是非一度香りの重要歴史拠点として一度訪れてみてください。

3. ドイツ人とフレグランス文化：香りを生活に溶け込ませる人々

ドイツ人にとって香りは、特別な日だけでなく、日常生活を豊かにするものとしても愛されています。香水の他にも特にキャンドルやボディローションは日常で頻繁に使われています。香りは多様でアート性が高くアニマリックな香りも好むフランスと比較すると、どちらかという実用的で、控えめなものが好まれます。より「清潔感」を感じさせる香りが広く支持されるのも特徴で、自然や森をイメージさせるグリーン系やフレッシュなシトラス系が人気。これらの香りは、リラックス効果や集中力を高めるとしても評価されています。それでは日本の嗜好に似ているのではないかと思うのですが、その反面オリエンタル・グルマン系といったどっしり重くて甘いバニラ菓子のような香りやスパイスやカルダモンがたくさんのスパイシーで暖かい香りが大好きな一面もあります。確かに、寒い冬のドイツでは甘くてスパイシーな香りに包まれると気持ちも落ち着き、ヴェールに包まれた安心感を感じることができます。



4. 現在の人気ブランドとトレンド

ドイツでは、国際的に有名なラグジュアリーブランドに加え、ローカルブランドやサステイナブルな新ブランドが注目されています。これらは伝統と革新が融合した魅力的な製品を提供しており、特にクリスマスギフトとしても人気です。

人気の定番クラシックブランド

- 4711 (<https://4711.com/>)

ケルンの中央駅にも大きく水の伝統を引き継ぐブランドで、ライトでユニセックスな香りが特徴。ケルンでお土産というとならず4711があがってきます。リフレッシュしたいときや日常使いに、世代を超えて愛されています。



- **エスカーダ (ESCADA)**

日本でも限定品が大ヒットした、華やかでフルーティーなサマーな香りが特徴のブランドは実はドイツから来ています。特に若い世代の女性に人気で、クリスマス限定のボトルデザインが毎年話題を集めます。



トレンドなブランド

- **Escentric Molecules** (エッセントリック モレキュールズ)

香水界をアツと言わせた革新的なユニセックスブランド。シンプルながらも多くの支持を集めています。分子 (モレキュール) に特化したミニマリストな香り。代表作の「Molecule 01」は、Iso E Super という単一の香り分子で構成され、着ける人の肌化学に反応してユニークな香りを放ちます。



- **Aqua Colonia** (アクア・コロニア)

4711 シリーズで自然にインスパイアされた香りが特徴で、ラベンダーやレモングラスなど、落ち着きと爽やかさを兼ね備えたラインが人気。オーガニック志向の消費者に向いています。



- **J.F. Schwarzlose Berlin** (J.F.シュワルツローゼ ベルリン)

ベルリンの歴史や文化からインスパイアされた洗練された香り。伝統的な魅力を持ちながらもモダンなテイストが加わり、ニッチな香水市場で一際目立っています。Rausch (ラウシュ)、Altruist (アルトルイスト)、Trance (トランス) が人気。



- **Frau Tonis Parfum** (フラウ トニーズ パルファム)

ベルリンの遺産を称えるエレガントな香りで、地元の人々や観光客から愛されています。ミニマリストでヴィンテージの香りに現代的なひねりを加えたフレグランス。



ドイツのフレグランス市場は、ナポレオン時代から続く伝統の香りの歴史は現在も生き続けながら、サスティナブルな新しいアプローチが加わりながら進化を遂げています。次回、ドイツを訪れる際には、ぜひ香りに注目してみてください。ケルンの伝統的な香水ショップやベルリンのモダンなフレグランスブランドを巡る旅は、ドイツの歴史と現代文化を香りを感じる貴重な体験となるはずです！

今後のサービス向上のため、お客様の声をお聞かせください。
ぜひ、以下のアンケートへご協力お願いいたします。(所要時間：約 1 分)
<https://forms.office.com/r/cTY6CxUTh7>